

マルチレベル分析入門

日時： 2016年9月1日（木） 10:00～17:15

場所： 東京大学（本郷キャンパス）赤門総合研究棟5階・センター会議室（549号室）

料金： 一般 5,000円、学生 2,500円

講師： 太郎丸博（京都大学）

定員： 25名

■本コースの内容

マルチレベル分析の基本的な考え方、データの準備の仕方やプログラムの書き方、結果の解釈の仕方やまとめ方について、実際にプログラムを実行しながら概説します。分析には R の3つのパッケージ (nlme, lme4, lmerTest) を用います。当日は資料を配布し、テキストは使用しません。なお、講義の前に以下の参考書に目を通しておくと理解が深まると思います。

林啓一, 2004, 「第15章 Rでマルチレベルモデリング」岡田昌史（編）『The R Book: データ解析環境 Rの活用事例集』九天社.

清水裕士, 2014, 『個人と集団のマルチレベル分析』ナカニシヤ出版, 1, 2, 5, 6章

■次のような方におすすめです

- ・ 個人レベルと集団（例えば国家や学校、企業）レベルのデータを組み合わせて分析する方。
- ・ パネル・データで収入のような変数の変化の仕方が、個人の属性によってどう異なるか分析したい方。
- ・ 入れ子型のデータ分析（例えば対象者（親）の特徴が複数の子供の学歴にそれぞれどう影響するかの分析）をしたい方。

■注意事項

- ・ 重回帰分析や交互作用効果については理解していることを前提に講義します。
- ・ Rを用いた実習を行いますので、Rの基本的操作に不安のある方は、「二次分析のためのR入門」コース（8月31日開催）を事前に受講しておくことをお勧めします。
- ・ Rがインストールされたノートパソコンをご持参ください。当日、会場で配布されるUSBフラッシュメモリからインストールも可能です（ただし、windows OSのノートパソコンに限ります）。インストールが必要な場合には、当日の9:30までに会場にお越しください。

■本コースの日程

「マルチレベル分析の必要性」「モデルの比較、診断、様々なオプションの選択」「離散変数のマルチレベル分析」「3水準モデルと交差分類モデル」「成長曲線モデルと入れ子データへの応用」「ブートストラップ」